

## 近世④「江戸時代中期」

## 幕藩体制の展開 (江戸時代中期の産業・元禄文化を含む)

B



7分

1. 次の問いに答えなさい。

- (1) 江戸時代に、竹や鉄の刃をたくさんとりつけた、脱穀のための農具が開発され、急速に全国に広まった。この農具を何というか。

 [1]

- (2) 江戸時代に航路が整備され、北海道でとれたにしんやこんぶが西廻り航路などを利用して日本海側の各地や京都・大阪へ運ばれた。このころの北海道は何と呼ばれていたか。

 [2]

- (3) 大阪は商業がさかんで、各地から年貢米や特産物が集まってきたことから、どのように呼ばれたか。

 [3]

- (4) 元禄文化が栄えたころに、『日本永代蔵』など、浮世草子と呼ばれる小説を書いた人物はだれか。

 [4]

- (5) 室町時代に流行した連歌をもとにして、松尾芭蕉が、独立した芸術として大成したものは何か。

 [5]

- (6) 元禄文化が栄えたころに、水戸徳川家の徳川光圀が編さんを始め、明治時代に完成した歴史書は何か。

 [6]